

「高すぎる」国保料、「引き下げ」を強く求める

国民健康保険料は、高すぎて暮らしを圧迫し、払うことのできない市民が多数います。市長に対し、「保険料は高止まりであり、国に国庫負担率の引き上げを求めるとともに、国や京都府の支援制度の活用、市独自の財政繰り入れを増やして保険料の引き下げをすべき」と議会で求めました。



市会本会議で市長相手に論戦

市民の宝 敬老乗車証制度の改悪反対



市役所前で市民団体と訴え

敬老乗車証について「敬老乗車証を守ろう連絡会」から、市に対して制度の改悪をすべきでないとする35066筆の署名が提出されています。高齢者の暮らしに大きな影響を与えることは許せません。市に対して「現行制度を存続してほしいという願いに応えるべき」と迫りました。京都市は今までと同じ制度を維持すべきです。引き続き、現行の敬老乗車証制度を守り存続させることを求めます。

市が景観破壊を先導。山ノ内で高さ31メートル規制緩和

右京区山ノ内の浄水場跡地への大学の建物建設計画で、京都市は周辺の景観を壊す規制緩和をしようとしています。議会で、「大きな建物が建てば、近隣町内の通風障害と景観破壊の懸念がある」と指摘しました。市は、「周辺と調和した環境にする」としていますが、具体的対策は希薄で、住民の生活優先の景観対策が求められます。



写真の右側に高さ30mの建物予定

地域の身近な要望実現へ



嵯峨野

遅れていた私道整備。嵯峨野北野町で道路整備進む



嵯峨野

安全対策のため、嵯峨野南浦町でカーブミラー更新設置される



地域要求実現めざして

梅津通学路 安全に狭い通学路 安全対策前進

写真は、右京区梅津北町の四条通り南の通学路です。朝夕は多くの車、バイク等が走ります。子どもがいるから「危ないので何とかして」と相談がありました。島田けい子京都府議と共に、京都府警察へ相談し、この度、時速30キロの速度制限となり改善されることが分かりました。

身近な市会議員として
「地域を守り」
「くらしを守って」



日本共産党 市会議員

市会教育福祉委員会副委員長
市会運営委員会委員 / 市会改革委員会委員

西村よしみ